

かんじょうづり 小浜勸請吊



氏子約40人総出で伝統守る 大注連縄を2神社に奉納

4年ぶりに、コロナ禍以前に近い形で小浜町の伝統行事「勸請吊」が行われました。早朝から大日堂に参集した50歳以上の氏子約40人が、長さ約15m、直径約20cmの大注連縄2本、八咫鏡や瓊瑤などの飾りを作りました。中止になっていた昼食も再開され、顔を合わせた氏子同士が笑顔を交わしながら天満宮と八幡宮の両神社に奉納しました。

1月7日 | 小浜大日堂 など

親子ほっとステーション お正月遊び



未就園児とその保護者14組が カルタや福笑いとおはしゃぎ

小津学区の「親子ほっとステーション」に参加した14組の未就園児とその保護者が、お正月遊びを楽しみました。小さなお子さんも楽しめる、大きくかわいい福笑いやカルタ、すごろくなどに大喜び。参加した保護者は「遊ぶだけでなく、子育て情報が得られたり、相談ができたりますので、毎月親子で楽しく参加しています」と話していました。

1月5日 | 小津公民館

五色百人一首 滋賀県守山市大会



千年の時を超えて 20枚の札を前に正々堂々

県内の未就学児～中学生が集まり、百人一首のうち青色に分類された20枚の札を取り合いました。中高生の先輩が見守る中、先生の読み上げの声を聴き、札に集中する子どもたちの目は真剣そのもの。会場は緊張感に包まれていました。日本の伝統文化を伝えるために全国の小学校教師の有志で始まった本大会は、教師や支援者のボランティアによる運営で、全国各地で開催されています。

1月8日 | 河西公民館 集会室

新春恒例の寒中稽古



湖水に浸かり一斉の型稽古 気合いこめ「エイ、ヤー」

琵琶湖で陰陽流拳法空手術道北辰館の門下生が湖水につかり、一斉に型稽古を行いました。約25年続く新春の恒例行事で、今年は守山、京都、岐阜の3歳～70歳代の約30人が参加。水位の低い湖水に腰近くまでつかりながら、寒さと水の抵抗をもとせず「エイ、ヤー」と気合いの稽古で1年の始まりを飾りました。

1月7日 | 第2なぎさ公園地先の琵琶湖



守山市の人口

令和5年12月31日現在
(前月比)

人口	85,866	(- 53)
男	42,274	(- 20)
女	43,592	(- 33)
世帯数	34,934	(- 53)

わが娘の通っていた保育室はパートの園庭がないが一歩外に出ると川があり、河畔の遊歩道や田畑もある自然に恵まれた場所だった。草花でおまごをしたり、木の枝を釣りにしてお見立てして釣りをしたりして遊んでいた▼娘にとって草花や石、木は遊び道具であり宝物、キラキラの目でプレゼントしてくれたものだ。小学生の今もそれは変わらない。春にはシロツメクサや桜、夏にはセミの抜け殻(虫が苦手なので喜んであげられない)、秋には落ちていた紅葉、冬には手のひらサイズの雪だるまなど▼もうすぐ進級の季節。学童へお迎えに行くたびにもらえる自然のプレゼントは、彼女の成長とともに、いつかもらえなくなるのだろう。キラキラの目でプレゼントをくれる娘の姿こそ、私の宝物だ。(こ)



双眼鏡

わが娘の通っていた保育室はパートの園庭がないが一歩外に出ると川があり、河畔の遊歩道や田畑もある自然に恵まれた場所だった。草花でおまごをしたり、木の枝を釣りにしてお見立てして釣りをしたりして遊んでいた▼娘にとって草花や石、木は遊び道具であり宝物、キラキラの目でプレゼントしてくれたものだ。小学生の今もそれは変わらない。春にはシロツメクサや桜、夏にはセミの抜け殻(虫が苦手なので喜んであげられない)、秋には落ちていた紅葉、冬には手のひらサイズの雪だるまなど▼もうすぐ進級の季節。学童へお迎えに行くたびにもらえる自然のプレゼントは、彼女の成長とともに、いつかもらえなくなるのだろう。キラキラの目でプレゼントをくれる娘の姿こそ、私の宝物だ。(こ)